

大分県医療・福祉労働組合連合会（大分県医労連）  
〒874-0938 大分県別府市末広町 6-27 ミッドビル2B  
Tel : 0977-75-7556 Fax : 0977-75-7560  
E-mail : [irouren3984@bloom.ocn.ne.jp](mailto:irouren3984@bloom.ocn.ne.jp) ホームページ : <http://oita-irouren.net/>

平成 25 年 9 月 27 日発行

## 第55回定期大会で69名参加!!九州ういろう青年交流会in唐津に参加して!

2013年9月8日(日)10:00～ 別府・花菱にて開催されました。日野副委員長の開会の挨拶、池田委員長の「大分県医労連の大きな飛躍は、楽しく元気に活動する事から来ている。共済活動でも日本医労連大会で表彰された。これも日頃の地道な運動の成果野たまものである。今後も1人1人が思いやりを持って元気に頑張っていく。」と力強い挨拶がありました。午前中は定期大会としては初の試みですが、組合員としても関心のある2本のミニ講演会を開催。『正しい労働社会の作り方』大分大学経済学部教授石井まこと先生『障害者虐待の防止と対応』西別府病院・療育指導室長 岡村俊彦先生これらの講演については今後ニュースで紹介していきたいと思ひます。午後からは、日本医労連中央執行委員の米沢哲さんの情勢報告から始まりました。その後、各単組がパワーポイントなどで団体交渉の結果報告、単組支部での活動状況、個人組合員からは労働相談後の闘争の状況などが報告され、時間いっぱい活発な討論が行われました。最後に7年間委員長を務め今季限りで、退任となった池田康夫委員長(写真左)に対し支部からの感謝決議が出され、大きな拍手と花束と共に今後は私達の良きアドバイザーとしての顧問委任を承認されました。



そして、美馬新委員長(写真右)が新執行委員と共に2013年度も頑張る決意を表明し終了しました。



初めて全労連九州ブロック青年交流会に参加だったので緊張と不安でいっぱいでした。1日目は開会式と運動会を行ないました。他県から集まった人達と色々な競技をどうして体を動かす事で交流を行いました。暑いなかでしたがチームとして協力する事で相手を知ることができました。運動会が終わり旅館に移動し休憩を挟んで地引き網とBBQをしました。海に移動し地元漁師指導の下、参加者全員で力を合わせて地引き網を引き取れた魚で



BBQをして食べました。食事をしながら各県の人達と話しながら、どういった活動をしているか?他県との違いなどを話して、楽しい時間を過ごしました。2日目は学習会に参加しました。講師に熊本県労連議長 榎木光男さんを迎え労働組合の立場やあり方などの話しを聞きました。知らない事が多くとても勉強になりました。その後各班に分かれグループごとに講義や職場について話し合いました。それぞれの考えや悩みなど話しましたが、皆さんの知識の高さや考えに驚きを感じました。今回参加した事により人との関わりや労働組合について学ぶ事ができ良い経験をする事ができました。 報告佐藤病院労組



先日の定期大会で、大分大学経済学部教授の石井先生が、『正しい労働社会の作り方・考え方』で、労働組合を活かす労働政策と題して(次回掲載予定)長時間・非正規不安定就労・雇用依存型社会保障(企業中心社会)などで、非正規労働者は不安定です。正規職員でも突然の解雇や配置転換も簡単に行われるような社会になっていますとお話されました。人材は、沢山いるのに何で長時間労働になり片寄り状態なの?何でこんなに非正規ばかりになったの? 解雇・失業・生活保護等など社会保障で財政が厳しく赤字を増やす仕組みになったのはなぜ...?

検索! <http://oita-irouren.net/>

私たちが労働者は一生懸命働き、納めなければならぬお金をお金納めているのになぜ生活は楽にならないの?いつからこんな貧困が増加した日本になったの?...なぜ? 労働組合が結成されたのが1897年。雇用環境の向上などの要求で今もなお闘い続けています。訴え方は違っても働き続けられる職場を!求めているのは過去も現在も同じように思ひます。私たちはもう一度組合の必要性を考え、学ぶころではないでしょうか?...?! “私が言わなくても誰かがするわ!”とみんなが思ったらどうでしょうか... 次回に続く...

労働組合とはなんぞや? 23